



まちづくり活動事例集

平成27年1月
東広島市

◆はじめに

本市では、平成21年度を市民協働のまちづくり元年と位置づけ、平成22年2月に「市民協働のまちづくり指針」及び「市民協働のまちづくり行動計画」を策定し、公民館から地域センターへの移行や住民自治協議会の設立など、市民協働のまちづくりに向けた「体制づくり」を進めてきました。その後、徐々に市民協働に対する機運も高まってきたことから、市民、地域コミュニティ、NPOなどの「多様な主体」が主役となる第2期行動計画を平成25年3月に策定し、「活動・実践」に向けた取り組みを進めています。

この事例集は、「活動・実践」に向けた取り組みを進めるために作成したもので、本市の特色ある地域活動を紹介しています。

多様な団体が一丸となって地域の課題を解決する活動や、地域の資源を活かした活動など、様々な地域活動を掲載しています。本事例集を手にとられた皆様の地域で、何か新しい活動を始めるきっかけとしていただいたり、これまでの活動の参考として役立てていただけますと幸いです。

最後に、本事例集の作成にあたって、多大なるご協力を賜りました各団体の皆様に深く感謝申し上げます。

目次

P1 / 西条住民自治協議会
「酒蔵スタンプラリー&とんど」

P2 / 寺西地域住民自治協議会
「流れ流れて103m〜林間そうめん流し〜」

P3 / ふるさと郷田自治協議会
「郷田夏祭り」

P4 / 板城小学校区住民自治協議会
「うたごえコンサート」

P5 / 三永まちづくり協議会
「一人暮らし高齢者への食事の宅配と接待」

P6 / 東西条地区住民自治協議会
「土砂災害を想定した防災訓練」

P7 / 平岩住民自治協議会
「ひらいわ音楽祭」

P8 / 御薮宇小学校区住民自治協議会
「新町公園里親活動」

P9 / 三ツ城自治協議会
「西条中央とんど焼き」

P10 / 川上小学校区住民自治協議会
「川上小学校区区民体育大会」

P11 / 原自治協議会
「原夏祭り」

P12 / 吉川村づくり推進委員会
「吉川農村まるごと体験ツアー」

P13 / 八本松小学校区住民自治協議会
「八本松ふるさと文化祭」

P14 / 西志和まちづくり自治協議会
「異世代交流のつどい」

P15 / 志和堀小学校区住民自治協議会
「防災訓練」

P16 / 志和堀小学校区住民自治協議会
「定住促進」

P17 / 東志和小学校区住民自治協議会
「地域住民の連携による教育支援」

P18 / 小谷小学校区市民協働まちづくり協議会
「省エネ体験講座「電気を意識して使おう
〜 電気を感じて！楽しく！有効に！〜」

P19 / 高屋東小学校区住民自治協議会
「交通安全教室」

P20 / 造賀地区自治協議会
「造賀メール」

P21 / 高美が丘小学校区住民自治協議会
「親子さつま芋堀り体験」

P22 / 板城西住民自治協議会
「板城西区民夏祭り」

P23 / 上黒瀬小学校区住民自治協議会
「通学路危険箇所マップ作り」

P24 / 乃美尾ふれあい会
「ふれあい盆踊り大会」

- P25/ 中黒瀬住民自治協議会
「中黒瀬ふれあい音楽祭」
- P26/ 下黒瀬住民自治協議会
「シニアふれあいスポーツ大会」
- P27/ 住民自治協議会 福に富む郷 竹仁
「三Mi一体竹仁のEco家族」
- P28/ 上戸野地区住民自治協議会
「春季祭」
- P29/ 久芳住民自治協議会
「福富さわやかウォーク」
- P30/ 清武住民自治協議会
「安心・安全・環境づくり」
- P31/ 乃美別府住民自治協議会
「シバザクラの里」
- P32/ 吉原振興会
「エヒメアヤメの里 天神原」
- P33/ 清武西住民自治協議会
「むかで芝植え付け」
- P34/ 能良振興協議会
「盆の集い」
- P35/ 自治組織「you愛sunこうち」
「防災メール」
- P36/ 草が城の里・河戸自治協議会
「沼田川流域周辺の美観づくり」
- P37/ 住民自治協議会「四季の里 宇山」
「景観植物の植付・維持管理」

- P38/ 自治組織 ふれあいの里戸野
「沼田川親子ふれあい川遊び」
- P39/ 自治組織「共和の郷・おだ」
「小田城址の公園化」
- P40/ 入野自治組織 「篁の郷」
「炭を活用した入野川の浄化」
- P41/ 大田地区住民自治協議会
「大田地区ふるさと祭り」
- P42/ 木谷自治協議会
「木谷はっけん野あそび会」
- P43/ 風早自治協議会
「家族カード作成」
- P44/ 三津地区自治会
「まごころ弁当」



まちづくり活動事例

酒蔵スタンプラリー&とんど

西条住民自治協議会

活動拠点 西条地区拠点施設
住所 東広島市西条栄町8-29

世帯数 4,415
電話番号 082-430-7070

活動のきっかけ

学校週5日制の導入を契機とし、親子で参加でき、冬場の運動不足の解消をねらう取り組みとして、また、都市化の進展により廃止された“とんど”の復活を待望する声に応え、住民自治協議会設立以前からPTAと体育振興会の事業として始まった。

活動の内容

酒蔵などをスタンプポイントに設定することで、地域の伝統を学ぶきっかけを作り、企業も商品提供等を通じて参画し、社会貢献を果たしている。ゴールの小学校では“とんど”を囲んで、もちをつき、甘酒・ぜんざいがふるまわれるなど、地域交流の場となっている。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
小学生が街中を回るため、交通安全の確保等に特に注意を払った。

成果

当初の参加者は400人だったが、現在は1,600人を数える大きな活動となり、地域に愛される活動として定着している。

今後の展開

事故などを起こさないよう留意しながら、伝統文化の継承と郷土愛を育む取り組みとして、今後も継続していきたい。



流れ流れて103m～林間そうめん流し～

寺西地域住民自治協議会

活動拠点 寺西地域センター
住所 東広島市西条町寺家3166-1

世帯数 4,740
電話番号 082-423-7335

活動のきっかけ

学校に週5日制が導入され、土曜日が休日となったことを契機に、寺西小学校区では、体験を通じて子供の「生きる力」を育成することを目的として、「おやくろ会」を結成し、様々な取り組みを始めた。

活動の内容

7月の行事として、子供と親と一緒に103mに及ぶ長大な竹の流しそうめん台を製作し、そうめん流しを行った。平成26年度は広島大学の留学生15名を招き、ダンス等の余興を織り交ぜながら、国際交流の機会をもった。

活動を振り返って

苦労したことや工夫したこと
103mの長さなので、竹など資材の収集に苦労した。また、会場が遠方なので、運搬にも苦労した。

成果
児童には留学生とのふれあいが新鮮であり、目を輝かせながら交流していた。留学生や保護者も国際交流に大変喜んでいて。

今後の展開
活動のマンネリ防止のため、計画段階から児童を参加させ、意見を求めながら取り組みを進めていく。



郷田夏祭り

ふるさと郷田自治協議会

活動拠点 郷田地域センター 世帯数 1,556
住所 東広島市西条町郷曾1130-5 電話番号 082-425-0101

活動のきっかけ

昭和6年に郷田盆踊りができ、これを保存するため昭和60年に郷田盆踊り保存会を発足。その後高齢化等により参加者も減少。平成3年8月に郷田夏祭りを開始しこの郷田盆踊りを次世代に継承し、郷田の伝統と文化を守ることとした。

活動の内容

1年間の物故者の追悼をはじめ、郷田盆踊り、消防団による放水体験、小学生による金管バンド演奏や踊り、カラオケ、郷田深道太鼓、花火等。また女性会や防犯連合会等9団体による屋台を出店している。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
盆踊り教室を毎年開催し小学生や区民を指導している。
小学生の出演を増やしたり屋台の出店等で夏祭りの来場を増やしている。

成果

子どもから大人まで約800名の区民が集い、郷田の夏の夜のひとときを楽しんだ。

今後の展開

コミュニティ事業助成申請によりやぐらを新調したり、内容等もさらに工夫することで、来場の増員を図っていく。



うたごえコンサート

板城小学校区住民自治協議会

活動拠点 板城地域センター

世帯数 1,301

住所 東広島市西条町馬木565-1

電話番号 082-425-2688

活動のきっかけ

住民自治協議会設立前から取り組んでいる音楽会を協議会設立後も引き継いで発展させ、当地区に在住している音楽家の演奏にあわせて歌を歌うことで親睦を深めるとともに健康増進を図ることとした。

活動の内容

プロの音楽家がピアノ、フルート、エレクトーン等を演奏し、地域の参加者がそれにあわせて歌う。途中、プログラムの合間にプロの演奏に耳を傾ける時間を設けながら、リラックスした雰囲気醸し出し、普段味わうことのできない音楽の世界を創出した。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
広く参加者を募るため、ポスターやチラシを作成するほかKAMONケーブルやプレスネットも活用した。

成果

「本物の演奏会に来たようで得をした」「次も参加したい」などと参加者から喜びの声が聞かれた。

今後の展開

地域の恒例行事にするだけでなく、地域の外からも参加者を集めていきたい。



一人暮らし高齢者への食事の宅配と接待

三永まちづくり協議会

活動拠点 三永地域センター 世帯数 856
住所 東広島市西条町下三永927-2 電話番号 082-426-0741

活動のきっかけ

少子高齢化が進展し、一人暮らしのお年寄りが増加していく中、独居による孤立化を防止し、地域の行事等に積極的に参加していただくことで、いつまでも元気で過ごしていただくことを目的に取り組んでいる。

活動の内容

住民自治協議会の生活・福祉部会員、民生委員、地域の協力員が協働し、ふれあいをテーマに子ども達によるお茶の接待、ママさんバンドによる音楽鑑賞会、弁当やおはぎの高齢者宅への配送などを実施した。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
子ども達が、日頃学んでいる「お茶作法」を、実践の場としてこの取り組みの中に取り入れたこと等。

成果

子どもとお年寄りの接遇体験、お年寄りの現状把握につながるとともに、災害発生時の炊き出し等の訓練にも位置づけられている。

今後の展開

年5回程度の取り組みとして、継続していきたい。



土砂災害を想定した防災訓練

東西条地区住民自治協議会

活動拠点 東西条地域センター 世帯数 1,842
住 所 東広島市西条土与丸二丁目3-4 電話番号 082-421-2023

活動のきっかけ

東西条地区は、北部・東部地域の山を抱えているため、住民自治協議会発足時に実施したアンケートでも、「防犯・防災の取り組み」への意見が一番多く、安全・安心なまちづくりが最大の課題となっていた。

活動の内容

東西条地区では、土砂災害への備えが最も急がれることから、大雨による土砂災害を想定した避難訓練を実施。緊急連絡網を作成し、12自治会(86%)486世帯(77%)の参加を得て、電話による情報伝達訓練を行った。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
地区の防災意識が低いことから、出前講座を実施することにより避難訓練の必要性を理解してもらった。

成果

個人情報保護という壁を越えて、12自治会で緊急連絡網が作成された。また、訓練には、多くの方の参加を得ることができた。

今後の展開

情報が円滑に伝わらないという課題の克服を目指すとともに、防災意識の啓発に努め、自主防災組織設立に繋げていきたい。



ひらいわ音楽祭

平岩住民自治協議会

活動拠点 平岩地域センター 世帯数 1,596
住所 東広島市西条町寺家520-12 電話番号 082-422-4930

活動のきっかけ

平岩地域は、西条と八本松の2町にまたがる地域であり、それぞれの地域行事は多いが、「平岩」としての行事は少ない。そこで誰もが気軽に楽しめる「音楽」を通して、地域が一つになれるようにという思いで、「音楽祭」を実施することとした。

活動の内容

「ひらいわ音楽祭」は、今年で6回目を迎える。出演者は、主に地域住民や地域内勤務者で、男女・年齢に関係なく、大人も子供もステージで発表したり、運営に関わったりしている。音楽のジャンルも様々で、みんなで楽しめる手作りのあったかコンサートである。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと当初は参加者・観客ともに少なかったが、回を重ねるにしたがって、関わった人たちの宣伝効果もあり、地域に浸透してきた。

成果

音楽祭に関わることにより、住民が自己を表現するだけでなく、コミュニケーションを深める場にもなっている。

今後の展開

幅広く地域の交流の場となるように、音楽祭に合わせて、フリーマーケットなど他の事業も取り入れて実施していく。



新町公園里親活動

御園宇小学校区住民自治協議会

活動拠点 御園宇地域センター 世帯数 984
住所 東広島市西条町御園宇7200 電話番号 082-423-3871

活動のきっかけ

当地区では積極的な清掃活動の結果、散乱ゴミの量も減少してきているが、地域センター近くの通称「新町公園」が雑草に覆われ、憩いの場とはかけ離れた状態であった。そこで、公園の維持管理を協議会事業と位置づけ、環境景観部会で推進することとした。

活動の内容

維持管理の方法として、市で進めている公園里親制度を活用し、担当課と協議を進めながら、草刈りなどを行った。また、地域住民の憩いの場となるよう、造園業者とも連携し、その指導を受けながら桜の苗木を植樹した。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
自治協だけの予算では困難であったが、他の制度を組み合わせることで事業推進が可能となった。

成果

これまで人影のない公園であったが、天気の良い日には親子連れの姿やサッカーをする青少年たちの姿を目にするようになった。

今後の展開

5年後10年後には、桜の木の下で花見を楽しみ、住民が楽しく集う場となるよう夏祭りなども計画していきたい。



西条中央とんど焼き

三ツ城自治協議会

活動拠点 三ツ城地区拠点施設

世帯数 4,112

住所 東広島市西条下見五丁目4-8

電話番号 082-427-6511

活動のきっかけ

かつて三ツ城小学校でも“とんど”が実施されていたが、急激な市街化により8～9年前に中止となり、途絶えたままとなっていたところ、復活の要望があちこちから寄せられていた。この声に応えるべく、まだ自然の残る宮本地区を選定し開催した。

活動の内容

近隣の方の協力を得て、山から竹を切り出し、先輩住民の方から教わりながら「(大人)とんど」を一緒に組み立てたり、大人のアドバイスを聞きながら子どもたちだけで「子どもとんど」を組み立てた。参加者から大好評をいただき終了した。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
とんどの騒音や灰などで迷惑をかけることになるため、事前に全ての家をまわって了解を得た。

成果

大勢の子ども達で作った「子どもとんど」が、この地区の特徴となり、子どもを中心とした地域のつながりを創るきっかけとなった。

今後の展開

毎年継続することを最大の目標とし、地域外からも来ていただけるような行事にしていきたい。



川上小学校区区民体育大会

川上小学校区住民自治協議会

活動拠点 川上地域センター

世帯数 2,968

住所 東広島市八本松飯田八丁目19-49 電話番号 082-428-0044

活動のきっかけ

川上小学校区は人口が増加しており、新旧住民の融合が課題となる中、恒例行事である区民体育大会に、市の補助事業として取り組んできた盆踊りの保存・継承事業を盛り込むことで、体育大会の活性化及び区民の親睦を図ることとした。

活動の内容

盆踊りの保存継承事業は、小学校区のブロックごとに取り組みを始めた。少しずつ形になってきたところで、練習成果を試す場として区民体育大会を選定し、大会のプログラムに組み込み、当日は各地域ブロックが練習成果を披露した。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
区民体育大会に先立ち、合同練習を行ったが、参加者が少なく、人集めに苦勞した。

成果

川上地区の伝統文化に触れることで、地区への愛着を深める第一歩となった。

今後の展開

来年度以降も継続する方向で検討する。



活動拠点 原地域センター

世帯数 1,643

住所 東広島市八本松町原3561

電話番号 082-429-0013

活動のきっかけ

原地区は広範囲に渡るため、地域住民のふれあいやお互いの理解が十分でなく、結果的に連帯感も醸成されにくい。このため、多くの住民が参加できる活動を展開することで、地域がお互いを理解し、一致団結した住みよい地域づくりを目指すこととした。

活動の内容

小中学校の児童、生徒の楽器演奏等を盛り込むことで、子どもを通じた交流を図った。また、まつりの目玉として、本格的な神楽団を招き、披露することで広域からの集客を図った。会場周辺は混雑するので、各種団体が協力して、交通整理等にあたった。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
ゴミ収集専用の袋掛けを製作し設置した。野外イベントであるため、虫、蚊対策として周辺の防除を行った。

成果

夏祭りへの取り組みで培われ地域の連帯感等が、他の地域行事へも波及し、相乗効果をもたらしている。

今後の展開

原地域はもとより他地域からの参加を積極的に受け入れ、地域固有の文化への理解促進及び交流人口の拡大を図る。



吉川農村まるごと体験ツアー

吉川村づくり推進委員会

活動拠点 吉川地域センター

世帯数 304

住所 東広島市八本松町吉川435-1

電話番号 082-429-1879

活動のきっかけ

ほぼ全域で圃場整備がなされ、水源となる椈の木ダムが広がる吉川の田園風景は、農村風景百選に選ばれるほど美しい。この豊かな地域資源を活用し、都市部との交流を促進することで、地区の活性化を図ることとした。

活動の内容

夏休みを迎えた小学生とその保護者を対象とし、長寿の森、ふれあいの里において、1泊2日のキャンプを開催した。広島国際大学の学生をスタッフに加え、野菜の収穫体験、ドラム缶風呂等を企画し、豊かな自然を体感できる場面を創出。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
参加者が怪我をしないよう
細心の注意を払った。

成果

都市部と農村部に暮らす双方の参加者にとって、お互いを知り、理解を深める場となった。

今後の展開

多くの人を巻き込んで、色んな意見を聞きながら、毎年継続し、地区のPRにつながる取り組みにしていきたい。



八本松ふるさと文化祭

八本松小学校区住民自治協議会

活動拠点 八本松地域センター

世帯数 3,821

住所 東広島市八本松南二丁目1-1 電話番号 082-428-3061

活動のきっかけ

これまでは子ども達のステージを中心とした催しであったが、住民自治協議会の設立を契機に、平成26年度から幅広い年代層の参加を促し、ふれあいの場の創出を目指した住民参加型の行事とすることとした。

活動の内容

会場を従来の小学校から地域センターに変更し、音楽、ダンス等のステージ部門やお茶、書道などの展示部門と発表の部門を拡大した。出演者の募集にあたっては、協議会のネットワークを活用し、幅広い分野からの掘り起こしを行った。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
開催場所の変更と発表部門の拡大により機材や労務に見合う実行委員の確保に苦勞した。

成果

当日の参加者は約1,000人を数え、大変な賑わいを見せた。ねらいどおり地域からの参加者が多く、評価する声も多く聞かれた。

今後の展開

自治協のネットワークの広がりを活用し、来年度以降は更に参加者の輪の拡大を目指す。



異世代交流のつどい

西志和まちづくり自治協議会

活動拠点 西志和コミュニティハウス 世帯数 1,197
住 所 東広島市志和町七条椀坂1737-1 電話番号 082-433-6022

活動のきっかけ

地域における少子高齢化が顕著となり、子どもとの触れ合いが減少していることから、子どもから高齢者まで幅広い世代間交流を促し、親睦を図るとともに、地域住民の生涯学習意欲の高揚をねらい3年前から取り組みを始めた。

活動の内容

広島交響楽団を招いて、弦楽四重奏演奏鑑賞会を開催し、西志和小学校全児童等と地域住民の交流タイムを創出し、併せて、バザーを開催し、地域から集めた日用品を販売した。売り上げについては、子ども達の学習に役立てることとしている。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
住民自治協議会、小学校長、PTAが十分な連携を取り、役割分担を明確にすることで円滑な運営ができた。

成果

小学校の全児童の参加を得て、地域の交流が促進されるとともに、プロの奏でる音色に魅了され有意義な一時を過ごせた。

今後の展開

今回の取り組みを参考に、住民自治協議会の他の構成団体においても、子どもを巻き込んだ事業の企画が進展している。



防災訓練

志和堀小学校区住民自治協議会

活動拠点 志和堀地域センター 世帯数 465
住所 東広島市志和町志和堀857 電話番号 082-433-2891

活動のきっかけ

住民自治協議会を設立する以前の「志和堀のまちづくり協議会」の時から、自主防災組織が既に組織されていたが、住民自治協議会設立(H24.4.1)後、更なる組織の充実と機能強化を目指し防災訓練に取り組むこととした。

活動の内容

平成25年総会において、毎年9月第一日曜日を「志和堀防災の日」と定め、各種災害についての認識を深め、防災に対する心構えを啓発するとともに、防災訓練等を行うこととし、消火活動のほか心肺蘇生、炊出し等の訓練に取り組んでいる。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
マンネリ化を防止するため、訓練内容等について、各種団体(消防局)と相談等行っている。

成果

「志和堀防災の日」の設定以降、各団体の責任者及び地域の方々に防災意識が浸透し、訓練に対する積極的な取り組みが見られる。

今後の展開

実のある訓練にするため、訓練内容等について適宜検討し、必要な改善を加えながら今後も継続的に実施する。



定住促進

志和堀小学校区住民自治協議会

活動拠点 志和堀地域センター 世帯数 465
住所 東広島市志和町志和堀857 電話番号 082-433-2891

活動のきっかけ

当地区では少子高齢化の進展により、小学校の統廃合が危惧される中、従来から空き家を活用した定住促進に取り組んでいた。住民自治協議会設立後、住民アンケートの結果も踏まえ、定住促進を重点事業と位置づけ、組織としての取り組みを始めた。

活動の内容

まず、各自治会で分担し、地区内における空き家を洗い出し、リストを作成した。次に、主に関係者の人脈をたよりに、定住希望者を募り、家屋所有者とのマッチングを図った。なお、既に定住促進に取り組んでいる団体への視察なども実施している。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
空き家の状態、所有者の意向、費用負担などケースにより条件が異なる中、最終的にマッチングさせること。

成果

これまで6件の入居があり、地域活動にも参加いただいている。また、入居者を通じて、新たな定住希望者の掘り起しにも繋がっている。

今後の展開

賃貸には過大な費用負担を伴う場合があることから、その負担軽減を図るなど制度全体の改善に向け、定期的な見直しを行う。



地域住民の連携による教育支援

東志和小学校区住民自治協議会

活動拠点 東志和地域センター

世帯数 716

住所 東広島市志和町志和東3887-1

電話番号 082-433-2922

活動のきっかけ

多くの親が子育てをする上で、悩みや不安を抱いていることから、東志和の子どもとその家族が安心して暮らせる教育環境を整えるため、地域による「手づくりの教育支援」を行うこととした。

活動の内容

児童に対しては、昔の遊び、野菜作り、米作りなど楽しみながら豊かな心を育む活動の指導を行っている。また、子育てで同じ悩みを持つ母親が集まり情報交換を行ったり、講習会を開催して、課題解決に努めている。
(子育てママ集会)

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
当初は、協力者、参加者が少なく、充実した活動ができなかったため、地域内への啓蒙活動に努めた。

成果

地域全体で子育て支援する意識が徐々に強くなってきた。また、乳幼児を抱える母親たちの不安解消に役立っている。

今後の展開

地域住民の更なる連携強化を図るとともに、月1回の子育てママ集会の回数を増やす方向で検討する。



小谷小学校区市民協働まちづくり協議会

活動拠点 小谷地域センター

世帯数 1,404

住所 東広島市高屋町小谷5560

電話番号 082-434-3758

活動のきっかけ

低炭素社会の構築に向け、節電を推進するにあたり、単なる節電意識ではなく、行動が地球温暖化対策につながることを意識しながら省エネ意識を持つため、地域や学校と協力して、省エネ型ライフスタイルの定着を推進することとした。



活動の内容

100家庭に参加してもらい、使用電力の2%削減を取組目標とした上で、各戸にエネルギーの使用状況が判る機器（パワーモニター）と組立式のLEDライトを配布し、電力使用を体感するとともに現代の生活様式について考えてもらった。



活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
組立機器の電気部分の作業難易度が高すぎたので、10名の作業支援スタッフを配置していたが足りなかった。

成果

目標を達成できた、または達成できるとの回答をいただいた参加者が9割以上になった。

今後の展開

再生可能エネルギーに興味を持ってもらえるような内容にしていきたい。

交通安全教室

高屋東小学校区住民自治協議会

活動拠点 高屋東地域センター 世帯数 1,470
住所 東広島市高屋町白市550 電話番号 082-434-0304

活動のきっかけ

飲酒運転等が原因の悲惨な交通事故が後を絶たない中、当地域において住民が交通事故の当事者とならないよう、事故防止の啓発活動に取り組むこととした。

活動の内容

交通安全協会から講師を招き、自転車の正しい乗り方など交通安全教育を受けるとともに交通安全体験車(セーフティヒコア)に搭載した測定機器を用いて、ゲーム感覚で視野機能、歩行能力診断を行った。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
例年8月に開催している地域の夕涼み会とあわせて実施することで、多くの参加者を集めることができた。

成果
実際の交通状況を体験したり、計測機器による客観的な数値を知ることにより、交通に潜む危険の理解につながった。

今後の展開
今回は子どもが主な対象者であったが、今後は高齢者を対象とした取組を進める予定である。



造賀メール

造賀地区自治協議会

活動拠点 造賀地域センター 世帯数 803
住所 東広島市高屋町造賀3638-1 電話番号 082-436-0896

活動のきっかけ

オフトーク(JA広島中央企画)が平成27年2月で終了することを受け、このローカル放送で情報を得ていた「葬儀のお知らせ」の代替え策としてEメール一斉送信システムを立ち上げることとなった。

活動の内容

葬儀のお知らせのほか、造賀地区全体にかかわるお知らせを、このシステムへの登録者の携帯電話に一斉送信する。また、各団体における事務連絡等にも活用する。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
携帯電話のない世帯にも、親戚等の力を借りて、情報が届くような仕組みを構築した。

成果
葬儀のお知らせはもとより、地域行事の緊急連絡にも対応できることから登録者から好評を得ている。

今後の展開
利便性を高めるとともに、登録者数を増やしていきたい。



親子さつま芋掘り体験

高美が丘小学校区住民自治協議会

活動拠点 高美が丘地域センター

世帯数 2,744

住所 東広島市高屋高美が丘四丁目34-2 電話番号 082-434-9500

活動のきっかけ

高美が丘小学校区は新興団地と農村地域から構成されており、豊かな自然を有している。この自然に着目し、子どもを中心に地域住民が土とふれあいながら交流を図るよう、親子さつま芋掘り体験を企画した。

活動の内容

住民自治協議会の地域活性化部会が中心になり、全戸に親子さつま芋掘り体験の募集チラシを配布した。当日は、参加者で楽しく芋を掘り、おにぎりやトン汁を作って食べ、お芋をお土産として持ち帰った。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
参加者数の見込みがたたず、当日まで心配であった。幼児が多いので、怪我のないよう配慮した。

成果

18家族、大人27名、子ども27名が参加し、子どもも大人も楽しむ中で、自然とのふれあいと地域住民の交流が図られた。

今後の展開

大人だけで参加する方も見られた。今後はそういう方々にももっと参加してもらえるような取り組みを進めていきたい。



板城西区民夏祭り

板城西住民自治協議会

活動拠点 板城西地区拠点施設 世帯数 648
住 所 東広島市黒瀬町国近344-1 電話番号 0823-27-8030

活動のきっかけ

従来から保育所園児、小学校の児童を中心に区民運動会やマラソン大会を実施してきたが、子供や孫がいない世帯まで幅広く触れ合える行事とすることで、さらに地域の輪を広め、互助精神の醸成を図る。



活動の内容

青少年育成協議会を中心に夏祭り実行委員会を設置し、各種屋台店、くじ引き、盆踊り、湯船太鼓、花火大会など多彩なメニューに取り組んだ。



活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
いつもは小学校のグラウンドが主会場となるが、平成26年度は台風の影響を考慮し、急遽体育館に変更した。

成果

少子化が進む中で、子供や園児のにぎやかな声が会場内に響き、約500人の参加者の笑顔につながる導火線となった。

今後の展開

自治協関係者を中心に他団体の同様な活動情報を入手しマンネリ化を防ぐとともに地域の恒例行事として継続していく。

通学路危険箇所マップ作り

上黒瀬小学校区住民自治協議会

活動拠点 上黒瀬地区拠点施設 世帯数 781
住所 東広島市黒瀬町南方1411-2 電話番号 0823-27-4500

活動のきっかけ

地域内の通学路は危険箇所がたくさんあり、児童・生徒の通学時等の安全を脅かしている。この道はこれが当たり前ではなく、ここが危険箇所であることを再認識する必要がある。

活動の内容

小学生とその保護者、学校関係者、自治協、民生委員、防犯パトロール隊、社協の構成員が校区内通学路を歩き、子供と大人の目線からの危険箇所を地図上に記入し、現場写真を添えマップを作成。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
夏休み中に実施したため暑さ対策や往来する車両に対する安全行動に配慮した。

成果

大人と子供の両目線から危険箇所を把握することで双方の信頼感を醸成することができた。

今後の展開

今回は学区全体を歩くことができなかったため、来年度もう一度行い、危険防止マップを完成させたい。

県道歩道未整備



団地内交差点(飛び出し注意！)



ふれあい盆踊り大会

乃美尾ふれあい会

活動拠点 乃美尾会館

世帯数 796

住所 東広島市黒瀬町乃美尾2131-1 電話番号 0823-82-0451

活動のきっかけ

乃美尾地区は大字乃美尾に12の区がある大字単位の集落で、従来から合同的な行事を展開してきた。こうした地縁、地勢を生かして新旧住民が触れ合える場を創設する機運が高まった。

活動の内容

毎年8月に乃美尾地区全区民を対象に旧乃美尾小学校跡地(現乃美尾ふれあい館となり)の広場で盆踊りのやぐらを中心に、自治協役員のほか青年会、女性会、子供会が中心になって屋台店を開設し区民同士のふれあい交流を深めた。

活動を振り返って

苦労したことや工夫したこと
野外イベントであることから最大の敵は天候である。長期予報を見ながらいつも雨が降らないことを願っている。

成果

継続行事であることから夏の定番イベントとして定着し650人が参加。また、役割分担も引き継がれ、準備段階からスムーズな運営となっている。

今後の展開

乃美尾地区の行事であるが、他地区の子供会にも声かけを行い由緒ある盆踊りから現代風の盆踊りまで幅広く展開していく。



中黒瀬ふれあい音楽祭

中黒瀬住民自治協議会

活動拠点 中黒瀬地区拠点施設
住所 東広島市黒瀬町丸山1333

世帯数 3,726
電話番号 0823-27-7727

活動のきっかけ

中黒瀬自治協は、新興団地16自治会と従来からの集落11自治会の27自治会から構成している中、同じ土俵で互いの絆を深めるための仕掛けを起こそうとする機運が高まり、誰もが参画できる事業を企画したものである。

活動の内容

“歌が生み出す絆と笑顔”をコンセプトにカラオケ、民謡、詩吟のほか小学校のマーチングバンド、合唱団など幅広い年齢層から「音楽」という共通話題を通じて「知らない人を知り」、「知っている人を更に知る」時間と空間を創設。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
沢山の方に出演していただくため、カラオケは2番までとし、音響はカラオケ用の機器を採用して時間短縮を図った。

成果

出演者の緊張と350人の観客の拍手と笑顔が交錯し、約6時間のステージで所期の目的が達成でき、来年もよろしくとの声を多く聞くことができた。

今後の展開

第2回、第3回と会を重ねていく予定であり、カラオケに限らず幅広いジャンル(ジャズ・ポップス・コーラスなど)からの出演を計画していく。



シニアふれあいスポーツ大会

下黒瀬住民自治協議会

活動拠点 下黒瀬地区拠点施設 世帯数 2,050
住 所 東広島市黒瀬町津江857-1 電話番号 0823-27-4700

活動のきっかけ

かつては多くの児童を抱える地区であったが、少子高齢化の進展により、子どもと触れ合う機会も朝の通学時間帯の声掛け程度に限定される状況となる中、高齢者層の日常生活に弾みを生み出すため、年齢を問わず誰もが参加できるイベントを企画した。



活動の内容

高齢者と子どもが触れ合い、楽しむことができるよう、高齢者と子どもを混成したチームを編成し、体力測定を兼ねた運動種目を選定した。また、天候に左右されることなく、イベントが開催できるよう屋内で開催することとした。



活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
参加者の得点を検証し、常に新しいメニューを小学校と協議して取り入れている。

成果

子どもも高齢者も楽しい時を過ごし、いつもの生活とは異なる体験から充実感が得られた。

今後の展開

参加者に負担がかからないことに留意しながら、競技終了後にパーティーなどの交流を企画したい。

三Mi一体竹仁のEco家族

住民自治協議会 福に富む郷 竹仁

活動拠点 竹仁地域センター

世帯数 411

住所 東広島市福富町下竹仁501-11

電話番号 082-435-2301

活動のきっかけ

当地区を流れる沼田川に対し、「昔は川魚がもっと居た」「蛍がめっきり少なくなった」「魚塚まつりを復活させたい」という住民の声が多く寄せられたことから、こども達が川遊びできるようなかつての清流を取り戻すため取組を始めた。



活動の内容

景観・環境部会を中心に、小学校も巻き込んで川の生態を観察し、昔との違いを認識することで、問題意識を共有した。また、環境問題への意識向上を図るための勉強会を開催し、使用電力量が判るタップの配布やEcoストーブ作りなどに取り組んでいる。



活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
呼びかけに利用していた防災無線が廃止されたことから、取り組みへの参加を募ることに苦勞した。

成果

「節電を考えるようになった」「Ecoストーブが我が家に欲しい」という声も上がるなど、住民の意識改革が徐々に進んでいる。

今後の展開

川の整備や川岸への植樹（蛍が生息しやすくするため）を行うとともに、この活動を根付かせるような仕組みを構築したい。

春季祭

上戸野地区住民自治協議会

活動拠点 上戸野地域センター 世帯数 131
住 所 東広島市福富町上戸野2555 電話番号 082-435-2057

活動のきっかけ

当地区では、ふれあいの場である祭りへの参加者も少なくなり、地域の活力の低下を感じる中、桜の木が植えられている高塚城跡を活用できる機会に恵まれたことから、ここに多くの住民が参加し、楽しむことができるような新たな祭りを立ち上げることとした。

活動の内容

「風起人」という地元の団体が中心となり、PTAほか各種団体を巻き込みながら、企画立案を行った。桜が植樹されていることから毎年4月の第2日曜日を開催日とし、出店者を募り、春季祭と名付け、高塚城跡において、花見を中心に祭りを開催している。

活動を振り返って

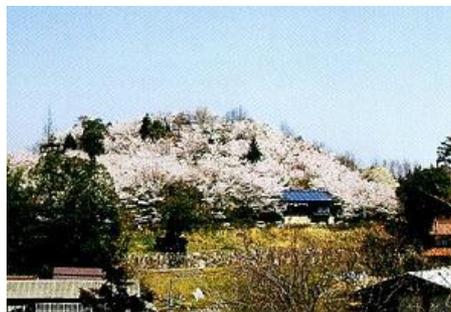
苦勞したことや工夫したこと
活動資金が少ないので、出店を増やすことができなかった。また、後継者を思うように育成できなかった。

成果

厳しい条件の下で運営をすることで、ふれあいの場をつくりたいという思いを地域の方々にも伝えることができた。

今後の展開

地域に活力が生まれるようもっと大勢の住民を巻き込んでいきたい。



福富さわやかウォーク

久芳住民自治協議会

活動拠点 久芳地域センター

世帯数 393

住所 東広島市福富町久芳1545-1

電話番号 082-435-2018

活動のきっかけ

当地区においては、住民が高齢化し、その対策が課題となっている。いつまでも健康でいたいと考える住民が多いことから健康づくりの一環として、誰もが気軽に参加できるウォーキングに取り組むこととした。

活動の内容

導入として、オリンピックに出場されたマラソンランナーの谷口浩美さんをお招きし、講演会を開催した。その後、道路が整備されており、景色のよい福富ダム周辺にコースを設定し、谷口さんとともにウォーキングをした。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと講演会を開催するためのノウハウ等の経験がなく、様々な調整に苦勞した。

成果

自らの健康について考え、朝夕にウォーキングをする人が増えてきた。

今後の展開

今後ウォーキングが定着し、交流がうまれるような取り組みを進めていきたい。



安心・安全・環境づくり

清武住民自治協議会

活動拠点 清武地域センター

世帯数 324

住所 東広島市豊栄町鍛冶屋603

電話番号 082-432-3393

活動のきっかけ

地主などの高齢化に伴い、草刈作業ができず、草が背丈ほども伸び、通学に支障をきたしていたり、放火等があった場合には大火になることが危惧されることから地域に呼びかけて安心・安全な環境づくりの機運が高まった。

活動の内容

通学児童の往来が多い通学路の点検を行い、不在地主や高齢者で、草刈りが困難になっている場所の草刈作業をおこなった。

また、身近な環境づくりとして各団体の協力のもとで資源回収にも取り組んでいる。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
夏場の草刈作業は、辛いところがあり、熱中症を考慮し夕方に行った。

成果

初めての取り組みであったが、地域の方の多数の協力で、活動ができ、通学や、散歩をする姿が多く見受けられるようになった。

今後の展開

草刈作業に終わらず内容を検討し継続的に行える工夫をしていきたい。



シバザクラの里

乃美別府住民自治協議会

活動拠点 乃美地域センター
住所 東広島市豊栄町乃美3163

世帯数 364
電話番号 082-432-2024

活動のきっかけ

乃美地区においては、住民自治協議会設立以前から農事組合法人化を目指し取り組みを進める中、田の法面等をどのように管理していくかが課題となっていたことから、草刈り等が不要となり景観形成にも優れたシバザクラを育てることとした。



活動の内容

中国四国農業技術研究センターの指導を受け、シバザクラを植え付けていった。当初、積極姿勢を見せた数人が中心となった取り組みであったが、徐々に賛同者を増やし、現在は、他地域から多数の研修を受け入れるほど、地域資源として大きく成長した。



活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
シバザクラを利用して祭りを開催していたが、来場者の駐車場が足りないため、中止を余儀なくされた。

成果

草刈りが不要となるなど営農上の成果が多数あがるほか、形成された優れた景観が、景観大賞等を受賞することとなった。

今後の展開

中止となったシバザクラ祭りを復活させたい。

エヒメアヤメの里 天神原

吉原振興会

活動拠点 吉原地域センター 世帯数 186
住所 東広島市豊栄町吉原2235 電話番号 082-432-2052

活動のきっかけ

霊峰天神嶽のふもとに群生するエヒメアヤメは、自然に自生していたものを個人が発見し、生育環境を整えてきたものである。20年間地域で育成に努め、住民自治協議会設立を契機に、協議会事業に位置づけ、個人と地域が協働して保全を継続している。

活動の内容

エヒメアヤメの里の場所を周知するため、新しく看板を製作し、道案内の標識とあわせて設置した。園内全般の草刈りを行い、進入路及び園内遊歩道を整備するとともに、エヒメアヤメの目印標識を設置し、当地区の財産として環境整備を行った。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
里の整備を進める中で、想定外の間伐作業が生じ、苦勞した。

成果
里の整備記念にまつりを開催したところ、200人の来訪があり、地域交流の場となった。

今後の展開
吉原地区における貴重な財産と位置づけ、他地区と連携を取りながら、地区活性化に資する様々な取り組みにつなげていきたい。



むかで芝植え付け

清武西住民自治協議会

活動拠点 清武西地域センター 世帯数 169
住 所 東広島市豊栄町清武3756-1 電話番号 082-432-2538

活動のきっかけ

清武西地域センターの周辺は、高さ約10メートルほどの急傾斜かつ巨大な土手に囲まれており、毎年の草刈りなど住民による維持管理が必要であるが、住民の高齢化に伴い、草刈り参加者が減少する中、対応が急務となっていた。



活動の内容

将来的には草刈りが困難になることが見込まれることから、作業の負担を軽減するとともに、景観形成にも資する芝生の植え付けを行った。芝生の選定については、広島県が推奨するセンチピードグラスを採用した。



活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
急斜面に植え付ける作業を行うことから、転落防止に対する配慮を行った。

成果

自らが育てた芝によって、少しずつきれいになる土手を見て、地域からも喜びの音が聞かれる。

今後の展開

あと5、6年かかる見込みであるが、引き続き芝生の植え付けを続けていく。

盆の集い

能良振興協議会

活動拠点 能良地域センター 世帯数 132
住 所 東広島市豊栄町能良1324 電話番号 082-432-2458

活動のきっかけ

地区の過疎化、高齢化の進展に伴い長年開催してきた「盆の集い」への若者の参加が減少していることから、地域活性化や文化の継承を目的に、若い世代の柔軟な発想により、集いのあり方を見直すこととした。

活動の内容

盆踊りとカラオケをメインとし、各種屋台も出店した。屋台運営には30人あまりの若者がボランティアで協力していただいた。また、運営費用として各戸1,000円の負担をいただいた。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
アルコール以外は、無料で提供することとした。

成果

若い人、地元を離れている人も多数参加し、例年の2倍程度の参加者を集めることができた。

今後の展開

区民運動会、文化祭のほか白菜大根狩りなど他地区との交流等にも同様の手法を展開していきたい。



防災メール

自治組織「you愛sunこうち」

活動拠点 河内地域センター 大ホール 世帯数 769
住 所 東広島市河内町中河内1205 電話番号 082-437-2228

活動のきっかけ

防災無線の廃止に伴い、住民への情報手段を検討する中、平成26年8月の大雨災害時に緊急告知ラジオ、テレビ等から住民への情報が不足していたことから、独自に情報伝達を試みましたが、長時間を要したことから、早期に連絡体制を整備する必要性を痛感した。



活動の内容

災害情報を中心とした、情報を地域で共有するため、携帯電話のメール機能を活用することとし、特定多数への情報伝達が簡単にできる市販ソフトを導入して、情報伝達網を構築した。まず、役員と区長の登録を優先し、次第に住民へのネットワークを広げている。



活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
携帯電話の操作に不慣れな人の登録を進めるため、QRコードを載せたカードを配布した。

成果
情報の発信者と受信者双方のやり取りが可能となった。メールに慣れていない人が関心を持ち始めた。

今後の展開
住民自治組織の約800世帯のうち、7割への配信ができるよう登録を進めていく。
(12月現在：230件登録)

沼田川流域周辺の美観づくり

草が城の里・河戸自治協議会

活動拠点 河戸地域センター

世帯数 165

住所 東広島市河内町河戸2080-1

電話番号 082-438-0446

活動のきっかけ

沼田川は水量が一定せず、川底や川土手に葎、雑木、雑草が繁茂し、著しく景観が失われている。そこで植樹などにより、四季を通じて景観を楽しむ地域づくりを行うことによって人間関係を深め、協力体制づくりを目指すこととした。

活動の内容

桜の植樹や芝桜の植え付けを行うとともに草刈り作業を年5回程度行っている。急斜面には防草シートを施すことで、草刈りの必要がなくなった。このほか、農業振興財団のアドバイスを受けながら付加価値の高い野菜づくりにも取り組んでいる。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
草刈り機を使用するため怪我が無いように注意することと万一に備え傷害保険に加入した。

成果

桜が成長し花を咲かせるまであと少しであり、芝桜は既に咲いているなど、順調な景観形成が進んでいる。

今後の展開

イベント若しくは地域住民の憩いの場として利用したり、他地域との交流の場にしていきたい。



景観植物の植付・維持管理

住民自治協議会「四季の里 宇山」

活動拠点 宇山地域センター

世帯数 101

住所 東広島市河内町宇山1481

電話番号 082-438-0449

活動のきっかけ

人口減少、高齢化の進展に伴い急こう配地等を中心に管理が行き届かず、荒廃する土地が散見されるようになってきていることが、この地区では懸案となっていたことから、土地の有効利用・景観形成の観点から景観植物を植付けることとした。

活動の内容

管理の困難な地域センター西側道路下の法面に、芝さくらを植栽するとともに、道路の側面などに彼岸花や水仙などを植栽し、景観形成を図った。また、急こう配の農地が荒廃しているので、わらび園として再生を図った。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
法面での作業は危険が伴うので注意を要した。また、専門的な助言を聞くため農地水振興組合と協働した。

成果

草刈り等の作業の軽減が図られた。わらびや植栽が他地区から人を呼ぶこととなり、交流が促進された。

今後の展開

地域の環境保全を図るため共同作業を続けていく。彼岸花については、範囲を広げて植栽をしていく。



沼田川親子ふれあい川遊び

自治組織 ふれあいの里戸野

活動拠点 戸野地域センター 世帯数 142
住所 東広島市河内町戸野738 電話番号 082-438-0445

活動のきっかけ

地域の子ども達が、地域の自然環境に積極的に関わり、地域活性化の一翼を担って欲しいとの願いから、地域住民の交流と将来へ向かって生きる力を身につけた子どもの育成を図ることを目的に、地域住民と各種団体の協力を得ながら活動を開始した。

活動の内容

沼田川の清流を活用し、鮎のつかみ取りと串焼き体験、水辺遊び、手作り筏による川下り体験、カヌー教室や水中宝探しを実施するほか竹林資源を活用した竹筒ご飯炊き体験、竹箸・竹コップづくりなどこれまで13回イベントを重ねる中で、様々な事業の展開をしている。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
東広島市には留学生など外国人も多いことから、近年は留学生を招いて国際交流の機会も創出している。

成果
市内全域に広報活動をしたところ、これまでにない多くの参加者で大盛況を得た。親子、祖父母との三世代交流を深めることができた。

今後の展開
地域の豊かな自然環境と資源を活用し、住民主体の運営により、年に一度の夏の一大イベントとして地域を盛り上げていきたい。



小田城址の公園化

自治組織「共和の郷・おだ」

活動拠点 小田地域センター 世帯数 197
住所 東広島市河内町小田2182 電話番号 082-438-0166

活動のきっかけ

小田城址は、小田の全景及びその自然美を一望できる小田のシンボリック存在であった。しかし、何時しか雑木が繁茂し展望が損なわれ、登山道も荒れて、山に入る者も減っていった。そこで、地域で整備することで、かつての輝きを取り戻すこととした。

活動の内容

まず、雑木の伐採、草刈作業を行い、頂上からの展望を確保した。次に、登山道を整備し、駐車場、簡易トイレ、見晴らしやぐら、案内看板等を設置した。最後に、桜の苗木を植栽し、猪、鹿からの食害を守るため柵を設置した。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
完成予想図の立体模型を作成し、それを展示することで、目標をわかりやすく地域住民にアピールした。

成果

頂上からの大パノラマを観て、人は感歎の声をあげ、小田の郷の自然美を認識するとともに、山林に関心を持ち山に入るきっかけづくりとなっている。

今後の展開

この公園が小田の誇りとなるよう、守り育て、小田の子どもや青少年が、美しい小田のふるさとを大切にする心を育てていきたい。



炭を活用した入野川の浄化

入野自治組織「篁の郷」

活動拠点 入野会館

世帯数 659

住所 東広島市河内町入野5024-12

電話番号 082-437-2522

活動のきっかけ

地区を流れる入野川の水質保全に取り組むにあたり、山林の保全活動から生じる間伐材に着目し、炭窯で木炭をつくり、川に設置することで水質浄化に利用することとした。



活動の内容

山林保全活動で生じた間伐材を利用して作られた炭は、川の水質浄化に利用するだけでなく、折に触れ地域の行事で利用することとしている。例えば、子どもが参加する夏のバーベキューや冬の焼き芋に利用し、みんなで楽しむことがこの取組の推進力にもなっている。



活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと単に作業をするという感覚では、士気も事業効果もあがらないと考え、全体的に“楽しむ”という要素を組み込んだ。

成果

実際に川の水質が改善されている。また、地域を巻き込んだ取り組みが、つながりを生み、新たな事業展開につながるという好循環を生んでいる。

今後の展開

手づくりの取り組みとして、楽しむことを忘れずに、発展的に取り組みを進めていきたい。

大田地区ふるさと祭り

大田地区住民自治協議会

活動拠点 つばきの里大田 世帯数 107
住所 東広島市安芸津町大田819 電話番号 0846-41-1042

活動のきっかけ

小学校の統廃合が進められる中で、本地区の小学校在廃校されることとなった。このため、地域と小学校とで取り組んでいた学習発表会も廃止されることとなったが、地域の愛着が深いことから住民自治協議会事業として継続することとした。

活動の内容

自治協議会のメンバーが中心となり、子どもからお年寄りまでが幅広く参加でき、地域への愛着がわくよう、子どもによる神輿や餅つき、女性会による昼食会のほか地域で採れた野菜の即売等を実施した。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
小学校が担っていた業務を自治協議会で分担することとしたが、その調整が難航した。

成果

地域の交流が継続され、子どもから大人まで参加できる祭りとして大変盛り上がりしている。（全世帯の85%が参加）

今後の展開

他地域との連携を模索していきたい。



木谷はっけん野あそび会

木谷自治協議会

活動拠点 木谷地域センター

世帯数 608

住所 東広島市安芸津町木谷4127-2

電話番号 0846-45-0105

活動のきっかけ

木谷は海と山の豊かな自然に恵まれ、希少な生物も生息している。外で遊ぶ機会の少ない子ども達に、この自然環境の中で、思い切り遊ぶ経験を通じて、地域の良さを実感して育てて欲しいという思いで、季節ごとの自然体験会を始めた。

活動の内容

季節ごとに地域特有の生物とふれあう自然体験会を実施している。海辺に大集合して産卵するアカテガニや、ウミホタルの神秘的な青い光にふれるなど、生物の不思議や自然の美しさを大人も子どももわかちあえる体験会としている。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
単なる生物観察とは異なり、フィールドで参加者自身が発見することができるような取り組みにした。

成果

個人で始めた活動だが、実績を重ねるにつれて、地域の理解と協力を得られるようになり、住民自治協議会の活動に位置づけられた。

今後の展開

木谷以外からの参加者も交えながら、地域の支援を活かし、世代間交流による昔の自然遊びの伝承にも取り組んでいきたい。



家族カード作成

風早自治協議会

活動拠点 風早地域センター 世帯数 1,496
住 所 東広島市安芸津町風早1214-1 電話番号 0846-45-0023

活動のきっかけ

平成26年8月の広島土砂災害では、当初県警と広島市が把握する行方不明者数が大きく食い違い、確定に時間がかかったことを教訓に、一刻を争う救出活動や安否確認に資するため名前や緊急連絡先などを掲載したカードを作成することとした。

活動の内容

地区内の全世帯に「家族カード」を配布し、世帯主及び同居者の名前、年齢などの基本情報のほか自力避難の可否、緊急連絡先などの記入を呼びかけた。提出されたカードは70班の班長、自主防災委員が管理し、緊急時に活用する。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
個人情報にかかわることなので、全ての班で全世帯を対象に防災会議を持ち、家族カード一括管理の目的・意義の周知を図った。

成果

ご近所が支えあって、災害に強いまちづくりをすすめようとする意欲が高まってきた。

今後の展開

年1回を目途に情報を更新し、避難訓練や見守り活動などにおいて活用し、効果を検証していく。



まごころ弁当

三津地区自治会

活動拠点 三津地区拠点施設

世帯数 1,334

住所 東広島市安芸津町三津5556-1 電話番号 0846-41-1024

活動のきっかけ

少子高齢化が進み、地区に高齢者が増えていることから、手作りの弁当を届けることで、地域のつながりを維持するとともに、見守りをしながら世帯状況を把握し、いざというときの助けが必要な人を把握することとした。

活動の内容

地区の85歳以上の方を対象に、町内で栽培・収穫した野菜を材料に五目飯、さといも、シイタケの煮物など約230個の弁当を用意し、自治会で分担して対象となる高齢者の自宅に届けた。その際、対象となる方の居住形態、身体の状態等の把握に努めた。

活動を振り返って

苦勞したことや工夫したこと
弁当に入れるおかずについては、食べやすいサイズにするため、小さく切った。

成果

こうした取り組みを通して、地域住民の中に、地域でお年寄りを支えようという意識の高まりが見える。

今後の展開

現在は年1回の取り組みだが、回数を増やすことも検討したい。

